藤岡みどりの ワクワクレポート

第１８号

2017.08.20 発行

発行 ： 藤岡みどりを推薦する会
代表　大西多美子 ・ 松前町議会議員　藤岡緑
〒791－3132　愛媛県伊予郡松前町西高柳255－1
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131
ホームページ http://www.fujioka-midori.jp

『今こそ、減災意識を』

★毎日暑い日が続きます。地球温暖化は加速度的に進み、世界各地で自然が異常気象という形で私たちを襲います。人類がこの世に誕生してから短期間のうちに暮らしの便利さや快適さを追求するがあまり、自然環境はどんどん破壊されています。

★その上宗教、民族、国家間の経済格差や貧困が紛争や戦争の種をまき、更に環境破壊が進み、結局は自分たちに跳ね返ってきています。

★パリ協定は、そういった歴史の反省から生まれた環境保護と次世代へのメッセージとして人類が守っていくべき最低限の約束事だと思います。（自国の利益優先を主張し脱退する国もありますが・・・）

★今日本国中、地震や風水害の危険にさらされ、防災についての意識も随分高まってきました。でも今の科学の力では、予測や準備で減災はできても完全に災害をシャットアウトすることはできません。

★今後も私は近い将来の発生率８０％といわれる南海トラフ大地震や異常気象がもたらす集中豪雨などに向け、地域防災の強化と住民の皆さんの防災意識の高揚のため汗をかいて行きたいと思っています。

（月・水・金）AM9:00～PM5:00
（火・木）　AM9:00～正午まで

ー花から力をー

今年も事務所の東側の窓辺は胡蝶蘭の花がたくさん咲きました。二つの鉢があり、一つは私が議員になってこの事務所を開設してから１０年間、毎年咲いてくれます。もちろん花の数は３分の１ぐらいになりましたが、元気にその優雅さを保ちながら咲き続けている姿に、私は勇気と力をもらっているような気がします。二年前に頂いた鉢には、勢いもあって今年も５０以上の花を咲かせています。

たぶんこの窓辺は胡蝶蘭の花たちには最適な環境なのでしょう。（特別な肥料を与えているわけでもないので・・）

みんなのページ

言葉のちから

先頃、小林麻央さんが、すてきな言葉を残して旅立たれました。

同じ頃、国会議員さんが打って変わって、聞くに堪えない言葉を発して世間から注目を浴びました。

人は言葉によって傷つき、言葉によって救われる。言葉は口から一度出てしまうと取り消すことはできません。　そのことをよく考えた上で言葉選びに十分注意して、他人に対する思いやりの心を持って使いたいものです。

公的立場の人はもちろん、私たちも日常生活の中で、身近な家族、友人などに対しても同じことが言えます。　もちろん、毎日素敵な優しい言葉だけで過ごすことは到底出来ませんが、できるだけ多く使いたいものです。

さあ、今日も、例えば「ありがとう」を誰かに言おう。

恵久美　大政千津子

～会長より一言～

皆様、暑い毎日ですね。熱中症対策を十分になさってください。

町議会の様子も私たちの理解の範囲になっている様子に、少し安心しています。

笑顔の国体・大会も始まります。何かのかたちで参加し成功させましょう。

町のために何かできる事をと、日々取り組んでいる方には頭が下がります。

皆様よろしくお願いします。

大西多美子

西高柳自主防災会　地域巡回　5/14

宮崎　高千穂峡めぐり
松前町史談会研修に同行
5/11～12

御神楽見学も

松前の見どころは？

観光ガイドグループ「はんぎり」による観光ガイド養成講座に参加して　6/17

やっとできた、
日本防災士会愛媛県支部！

会員の帽子
私も理事として
活動していきます

〒

メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも
活動内容の一部を公開しています。

編　集　後　記

今年の夏は「スーパー猛暑」。この猛暑が全国的に脅威をふるっており、いろいろな所から悲鳴の声が聴こえてきます。これだけ暑くなってくると、身体の体調管理に気をつけたいところです。日中の体力消耗を回復させてくれる夜の睡眠が大事になってきますが、熱帯夜での快適睡眠方法、みなさんはどうされてますか？

熱中症も立派な自然災害です！　気象情報に注意しながら、ちょっとした工夫でこの猛暑を乗り切りましょう。（^^）v　　（ K.I ）

～みどりの一般質問より～

ここが聞きたい！ Q & A

3月

Q. 若者定住と町の活性化に向けて

A. 若者の故郷への愛着や誇りを醸成するために、地元企業への就職活動の支援に協力して情報発信をし、地元回帰の方向へ導きたい。

小・中学校教育においても、地元愛を育てる教育方針が提唱されている。

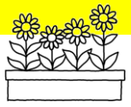
（＞０＜）奨学金援助の自治体もあるが

6月

Q. 国体に、おもてなしや観光アピールは

A. 競技会場の案内所設置、花プランターや登り旗で歓迎ムードを盛り上げ、町民との交流、ボランティアグループによる観光案内パンフの配布、町の特産品の無料提供、レンタル自転車の設置の検討も。

（～０～）全体的にまだ盛り上がらないのはなぜ？



Q. 地域防災力アップに向け町の支援は

A. 避難所単位ごとの合同訓練ができるように支援地域の防災士をもっと活用して、個々のスキルアップのための研修もする。

世帯人名簿を作って地域の掌握をすることには法的根拠がないため強制はできない。

（～０～）個人情報という壁をどうクリアするか

いろいろありました　～こんなこと、これからも～

《国体に向けて、町のアピールを！》

〇オーストラリアの高校生との親睦試合と交流

競技場は昨年５月完成。ここで国体選手の熱い戦いが。

〇おもてなしで観光事業にキックオフ

全国から来られる選手・関係者に松前町を猛アピール。町民もボランティアで大いに協力。

★私は一般質問で町に支援を促す。

《北伊予小学校の児童クラブ落成》

北伊予小学校の敷地内に放課後児童クラブ施設が完成。木造２階建てで、教室が三つあり、定員１２０人。新築に伴い対象を全学年に拡大した。

〇岡田小学校の児童クラブは？

対象児童が増える中、保育所移転による跡地構想など議論されているが、なかなか適当な場所が見つからないのが現状だ。

『防災士スキルアップ専門コースに参加して』

県の消防学校にて、朝から１日缶詰め状態で以下のような項目を学んだ。

特にⅠ・Ⅲについては、地域で早速訓練に取り入れたいと感じた。

Ⅰ．地域防災マップづくり

Ⅱ．個人災害カードの作り方

Ⅲ．要配慮者の避難対策

（７人グループのワークショップでマップ作りにトライ）

≪広報常任委員会研修に≫　7/5～7/7

★ 議会だよりを更に読みやすく、手に取ってもらうにはどうすればいいか、先進事例となる幸田町（名古屋近郊）を訪問。

【参考になったこと】
- 見出しは１４文字以内
- コンテンツで引き付ける
- 中３までの漢字で表現

など

【２日目】東京町村議会会館にて、議会だよりをずばりクリニックしていただく。辛口コメントをいただき、少しへこんだと共にファイトと闘志が沸いてきた。

☆議会基本条例案が可決され、４月より施行

現在、作業部会は下部条項作成のため、Ａ・Ｂの２チームに分かれて、早めに取り入れたい制度や改革を研究し、以下２点について実践に向けて取り組んでいます。座長として７月末に議長に答申をまとめて上程。

- 一問一答（一般質問）
- 議会報告会

『防災を楽しく学ぼう！』

７月２日、女性と防災の仲間と**東京有明防災公園**にて 30 種類以上のゲームや教材を体験した。

是非、地域でも広めたいという気持ちに。「防災ゲームでより実践力を！」

防災活動から

『５回目の仙台訪問から今の被災地は』

７月２６～２８日にかけて、「女性と防災」グループの仲間５人で東日本大震災６年後の復興状況を視察研修に。

視察先：荒浜、陸前高田、気仙沼、南三陸、石巻他

宮城防災士会のメンバーさんたちの協力もあって、現状と今後の問題など情報交換をし、行くたびに宿題を持ち帰る感じだ。

観て、聞いて、話して、町や地域に広める活動につなげれるよう今後も汗を流したい。

陸前高田市は盛り土工事で住宅の高台移転のために、６年経っても工事車両と機材が並び一般住宅はほとんどない状態だ。

奇跡の一本松が、ぽつんと立って物悲しい。

気仙沼は、漁港の再開で活気があって、観光客も多い。**南三陸**の盛り土上の木造商店街は、結構賑わっていた。

石巻の町歩きは面白い試みで、被災場所を観光スポットにする発想は新鮮だった。

何度も行った仙台の海岸沿いの**荒浜小学校**は、遺構として一般開放されていた。

この災害を風化させないために。

（荒浜小学校の前で）